

TL（ティッシュレベル）インプラントドライバー操作時の注意点

適切に操作いただくことで、時間の短縮やインプラント体の落下防止につながります。

インプラント体のケースと TL インプラントドライバーの構造をご理解いただき、適切に使用いただくことで操作性の向上が見込めます。不適切な操作は、必要以上に時間を要したり、インプラント体の落下につながる可能性があります。安全にご使用いただくために、本手順を遵守してください。

■ 対象製品



TL インプラントドライバー CH (S/L)



TL インプラントドライバー WH

■ インプラント体ケースの構造

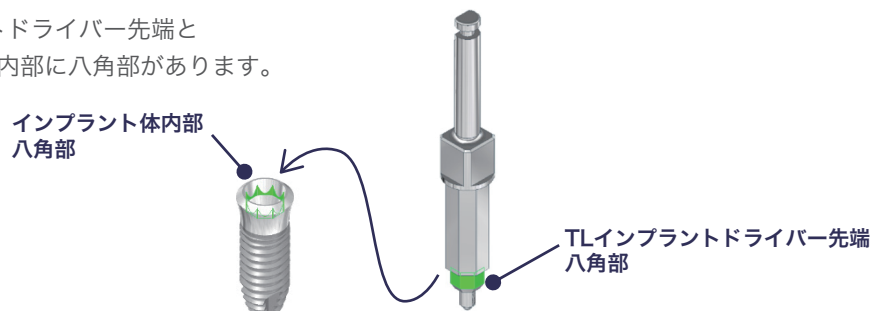


POINT

- ▶ 操作中に回転防止リングからインプラント体の切り欠き部が外れた場合は、ケースに振動を与えて出荷時の状態（切り欠き部が回転防止リングに収まっている）に戻してください。

■ インプラント体（TL）と TL インプラントドライバーの構造

TL インプラントドライバー先端と
インプラント体内部に八角部があります。

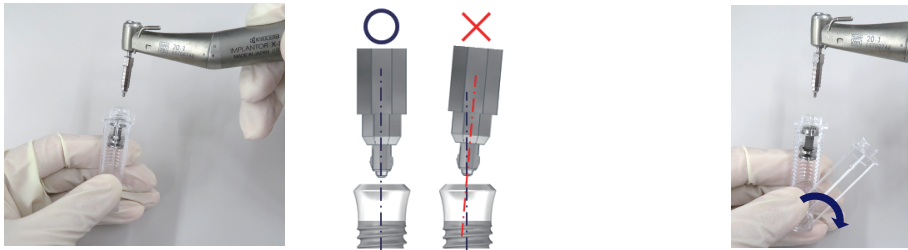


POINT

- ▶ TL インプラントドライバーとインプラント体内部にある八角部の位相が合うことで、TL インプラントドライバーが装着できます。

■ TL インプラントドライバーの使用法

1. インプラント体に対してTLインプラントドライバーをまっすぐ挿入してください。TLインプラントドライバーが傾くと、八角部の位相が合わず装着できません。



POINT

- ▶ インプラント体に対してTLインプラントドライバーを傾けずに装着してください。八角部やが見えにくい場合は、ケースをスライドさせて確認してください。

2. TLインプラントドライバー先端とインプラント体内部の八角部を合わせて装着します。TLインプラントドライバーあるいはケースを回旋させ、八角部の位相を合わせてください。45度以内の回旋で位相が合う位置があります。



POINT

- ▶ 装着の際はハンドピースの自重で操作してください。八角部の位相が合えばハンドピースの自重で装着されます。押し付けて装着しようとする、位相が合っていないところで噛み込んだり、ハンドピースに取り付けたTLインプラントドライバーが空回りして装着できないことがあります。

3. TLインプラントドライバーをケースからゆっくり引き抜き、インプラント体に隙間なく挿入されていることを確認してください。隙間がなければ、ケースに擦れないようにまっすぐ引き抜いてください。隙間がある場合は正しく装着できていないため、運搬時にインプラント体が落下する可能性があります。



POINT

- ▶ インプラント体が目視できる位置までケースからゆっくり引き抜き、隙間がないことを確認します。隙間があった場合はケースの奥まで戻し、再度TLインプラントドライバーあるいはケースを回旋させて装着し直してください。

● 一般の名称：歯科用インプラント手術器具 ● 販売名：FINESIA インプラント用手術器具 ● 製造販売届出番号：26B1X10012101122 ● 製造販売元：京セラメディカル株式会社

京セラメディカル株式会社

〒612-8450 京都市伏見区竹田鳥羽殿町6番地
<https://www.kyocera-medical.co.jp>

「FINESIA」は京セラメディカル株式会社の登録商標です。
当テクニカルレポートに記載の情報は2025年10月時点のものです。
当テクニカルレポートについては、無断で複製、転載することを禁じます。
© 2025 KYOCERA Medical Corporation 2510T D-233 09488

www.finesia.world

